

## 議題 1 及び 2 意見交換の論点

＜論点Ⅰ＞ 医療機能分化の推進（中等症・重症一体型病院の新規設定）

重症化リスクの高い中等症患者に対応する「中等症・重症一体型病院」を新たに設定。

各病院の診療機能・病床機能（高度急性期、急性期病棟の有無）を踏まえ、大阪府と協議の上、「重点拠点病院」、「（新）中等症・重症一体型病院」、「軽症中等症病院」への機能分化を図る。

＜論点Ⅱ＞ 目標病床数 3,500 床（重症 500 床、軽症中等症 3,000 床）の設定

第四波と同程度かそれ以上に感染者が急増した場合（災害級非常事態）に備え、更なる病床確保に取り組み、**3,500 床（重症 500 床、軽症中等症 3,000 床）**を目標病床数とする。

＜論点Ⅱ－1＞ 許可病床数の一定割合に応じた病床確保要請

各病院の診療機能・病床機能（高度急性期、急性期病棟の有無）を踏まえつつ、受入医療機関に対し、災害医療事態に備え、「許可病床数（一般）の一定の割合」に応じた病床確保を要請する。

＜論点Ⅲ＞ 宿泊療養、自宅療養体制の強化方針

入院を要しない陽性者は、原則、宿泊療養とする療養体制の強化を図るとともに、病状の急変に対応する健康観察体制等の充実・強化。

自宅療養者等、入院調整中患者の急増に対応するため、健康観察体制等を確保・充実。

自宅療養者への日中往診・訪問診療体制の充実（大阪府事業提案たたき台）。